

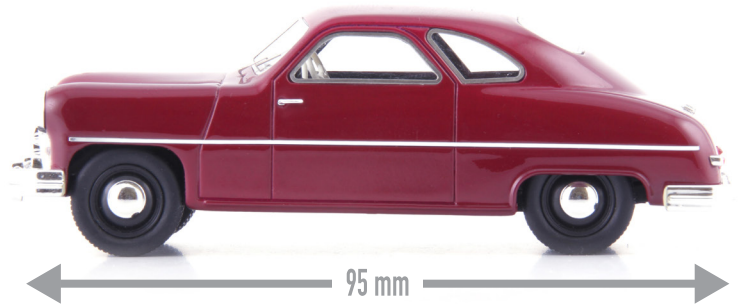
Scale 1/43

#03019

available

01/2021

limited edition 333 Stck.



実現したおとぎ話

第二次世界大戦前、カールハインツ シュタウナウはハンブルクのハールブルク地区で菓子とアイスクリーム製造専門の機械工場を経営していた。戦後賠償の過程で、彼の会社は接收リストに2回載ることとなった。1949年、その2回目に彼の工場のホールにあったものは完全に無くなった。残ったのは建物と180人の従業員だけだった。しかし、彼はその事態を有効に活用した。以前の職業は過去のものとして、自動車生産に参入することを決心した。32歳の航空機設計者であるゲルト クレブスと一緒に、彼は、他社の車両よりも魅力的な外観のデザインを書き起こした。ゲルトクレブスは、この車が競合他社よりもはるかに洗練されていることを確認しました。購入者は、小型車用の2つのエンジン(どちらもJLO製の400ccまたは750ccの2気筒2ストロークボクサーエンジン)から選択できました。小型のボクサーエンジンは12hpを生成し、750ccバージョンの出力は25hpでした。

くは、独立した自動車の概念としてではなく、オートバイに基づいてモデルを構築した。しかし、カールハインツ シュタウナウは別の、おそらくより良い方法で「本物の」車を設計した。それはつまり小型車に前部のフルワイドベンチに3人、後部に3人と最大6人が乗れるスペースを確保したことで証明された。量産は1950年7月中旬に開始された。1日4台から、時には1か月あたり最大600から900台の生産台数で開始する予定だった。400ccバージョンは4,752マルク、750ccバージョンは6,457マルクの販売価格となった。しかし、彼の望みだった成功を手にするには出来なかった。「K400」は64台のみがハンブルクの工場から出荷されたが、750ccバージョンは16台しか販売されなかった。そしてすでに1951年には生産停止が決定していた。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

1950年頃に小型車部門を試した企業の多

www.autocult-models.de